

2020年度 第2回産業医部会幹事会 議事録

日時：2020年10月24日9:00～11:30

場所：Web会議 (ZOOM)

(敬称略)

出席：齊藤政彦、宮本俊明、森口次郎、西條泰明、原俊之、各務竹康、菅原保、
谷山佳津子、加藤憲忠、大橋力、福本正勝、塚原照臣、服部真、石川浩二、
遠田和彦、岩根幹能、奥田昌之、真鍋憲幸、齊藤恵、杉原由紀、小田原努、
彌富美奈子、黒崎靖嘉

(監事) 深澤健二

(オブザーバー) 大神明専門医制度担当理事

欠席：伊藤正人

1. 審議事項

①前回幹事会議事録の確認 (資料1)

石川幹事から報告があり、承認された。これを受けてホームページへ掲載することが確認された。

②健診結果のデータベース化について

宮本副部長から現状について、特定健診の結果をもとにデータベースに落とし込む方向で進めていることが報告された。外国人労働者も含むため、病歴、業務歴の翻訳が課題となっており、年度内で調整完了させ新年度から開始方向であると報告があった。

③100周年記念事業について

宮本副部長から、8年先にむけて、過去の歴史的な資料の収集作業を、部会、委員会、研究会、地方会へ収集依頼して進めることが報告された。

④専門医制度について

彌富幹事より、社会医学系専門医制度についての説明会が11月の全国協議会で開催予定であると報告された。大神専門医制度担当理事より、来年度の専門医指導医の初めての更新について説明があった。社会医学系としての勤務実績、活動実績、K単位、G単位の条件など詳細に説明があった。

今年度の日本産業衛生学会の専門医試験について、筆記試験は12月13日に分散会場で、口頭試験は20日にWeb上で実施し、グループ討論は実施しないことが報告された。

⑤2020年度医部会総会について

齊藤部長から、今年度は学会、協議会が現地開催できず、四部会部長で議論した結果、各部会での裁量で開催方法を検討することとなった。医部会としては医部会報、ホームページ上で各種資料を提示することで代用することが提案され、承認された。具体的には、医部会長の説明、2019年度事業報告、決算報告、監査報告、2020年度事業計画、予算案の資料を、医部会報12月号に掲載し、発刊後に当該ページ分の記事をホームページへ掲載するこ

ととなった。

⑥2019年度産業医部会決算報告（資料2）

加藤幹事から決算報告があった。収支はほぼ同額であることが補足された。深澤監事より、問題のないことが報告され、承認された。

⑦2021年度事業計画、予算案について（資料3）

石川幹事より、2021年度の事業計画について説明があり、承認された。加藤幹事より、2021年度予算案について説明があり、承認された。

⑧医部会報について（編集委員会）（資料4）

谷山幹事から70号の発行と、71号の編集作業中であることが報告され、行事一覧について各地方会幹事へ報告依頼があった。また、運送業者への引き取り料が13,000円/号が新たに発生したことが報告された。

⑨プロフェッショナルコース

加藤幹事より、企画運営委員長が浜口委員より加藤幹事へ交代となったこと、実行委員長の役割と権限を強化して運営を進めていることが報告された。今年度は山本誠委員が実行委員長となり、はじめてWeb開催とし、テーマはパワハラ対策として準備中であると説明があった。

⑩ポスター発表優秀賞について（資料5）

西條幹事（選考委員長）より、今年度から事前に抄録から10題に絞り、11/4以後、Web上で本審査予定であると報告があった。表彰については、Web懇親会で実施予定と報告された。

⑪日本医師会との関係

齊藤部会長より、理事会内でワーキンググループが立ち上がり、森副理事長が座長となって日本医師会との調整を進めていることが報告された。

⑫ホームページの活用、学会のメルマガ、HPについて

黒崎幹事より、部会ホームページについて、プロフェッショナルコースのページを作成したこと、学会本体のホームページについて、WGを作成して検討中であることが報告された。

⑬第94回学会（松本）医部会フォーラムについて

塚原幹事より、6月の理事会にてハイブリット開催とすることが決まり、準備を進めていることが報告された。また第93回でのノウハウを活かすため、運営事務局を変更し、今後詳細を決定していくことが補足された。

フォーラムについて、他の企画と差別化した企画とするものとする方向で、塚原幹事、服部幹事、大橋幹事で意見交換中でありことが報告された。今後服部幹事が主担当として進めていくこととなった。

⑭第31回全国協議会自由集会について

石川幹事より、2021年12月に津で開催予定であり、第32回協議会担当の北海道地方会

の原幹事と合同で企画を検討していくことが報告された。

⑮部会設立 30 周年記念企画について

齊藤部会長から、四部会合同企画の拡大版を開催する方向で検討を進めていることが報告された。

⑯部会員増にむけて

齊藤部会長から、会員数増加へむけてのお願いがあった。

⑰常勤産業医の条件緩和について

齊藤部会長より、10 月 10 日にあった河野太郎行政改革担当大臣の産業医等の常駐義務を外すという発言を受け、川上理事長より、医部会の意見を求められたことが報告された。現時点では情報に乏しいため、厚生労働省などから今後の方針等の公表があった後に臨時幹事会等を開催して議論することとなった。

⑱次回幹事会

2021 年 2 月 27 日（土）9 時から 12 時、ZOOM による Web 開催とすることとなった

2. 報告事項

① 第 29 回全国協議会（医部会自由集会）につて

各務幹事より、前回幹事会で報告した内容から特に変更がないと報告があった。

② 第 30 回における企画（緊急：コロナ対策）

小田原幹事より、1250 名の事前登録があったことが報告された。オンデマンド期間中の追加の参加登録について、検討していることが補足された。

③ 第 31 回全国協議会準備報告

齊藤部会長から、2021 年 12 月 3 日から 5 日で、三重県津市で開催予定であり、ハイブリット開催で準備していることが報告された。

④ 第 32 回全国協議会について

原幹事より、2022 年 9 月から 11 月の間に開催予定で、札幌で開催予定であること、ハイブリット開催を想定していることが報告された。

⑤ 第 93 回学会（旭川）における医部会フォーラムについて

西條幹事より、医部会フォーラムがスライド提示により無事終了した旨報告があった。

⑥ 第 94 回学会（松本について）

審議事項⑬にて既述。

⑦ 各種委員会報告

生涯教育委員会について、遠田幹事より第 93 回学会の発表演題から 12 題を GPS として推薦し、うち 4 題を選出して演者へ依頼している旨報告があった

政策法制度委員会において、森口副部会長より産業保健活動に関するあり方の答申を作成中であることが報告された。

学術委員会について、森口副部長より各サブグループでの作業が終わり、今後まとめて理事会へ提出予定であることが報告された。

⑧ 各担当幹事報告

特になし。

⑨ 理事会報告

大橋幹事より、6月、9月に Zoom 会議にて開催されたこと、その中で、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する行政等への学会の協力の件と第 96 回学会が関東地方会での開催が決まったことが報告された。

⑩ 四部会長会議報告

斉藤部会長より、第 30 回協議会において、合同シンポジウムで「労働者の高齢化」をテーマに行うことが報告された。

⑪ 各地方会活動報告

特になし

⑫ その他

菅原幹事より、山形県で産業医活動をしている神村医師が日本医師会常任理事に就任し、医部会員でもあることから、今後情報共有していくことが可能であると情報提供があった。

以上